

令和2年度男女共同参画室事業計画

資料2

基本目標	施策の方向	主な事業	令和2年度事業計画及び取組方法
I 男女の人権が尊重される視点を育む環境づくり	(1) 男女が平等であることの意識づくりの推進	市HPの共同参画コーナーの充実	男女共同参画の浸透を図るための有意義な情報提供に努める。サポーター認定者の活動の活発化を促すことを目的として活動の紹介やコラムの掲載を継続する。
	(3) 政策・方針決定過程における女性の参画の推進	女性活躍推進セミナーの開催	令和2年度は市が主催する講座の実施予定はないものの、県や岩手大学が開催する女性活躍セミナーの周知に協力し、女性活躍に関する情報の提供を行う。
		女性委員不在の審議会等の解消、あて職の見直しと公募の拡大	審議会等委員への女性の登用推進方策に基づき、女性人材リストの活用と事前協議書により審議会等の女性割合向上に努める。
		団体・企業等への女性の採用と管理監督職への女性登用の働きかけ	女性の活躍(採用・管理監督者への登用)に関する情報提供及び広報周知に努める。
II 多様な視点・意見を取り入れた防災やまちづくりへの男女共同参画の推進	(1) 女性の視点を取り入れた防災力の向上と地域の繋がり強化の推進	男女共同参画サポーター養成と活動支援	男女共同参画に関心のある方がいわて男女共同参画サポーター養成講座に参加する際に受講支援補助金を支給し、受講に係る経費を一部負担する。
	(2) 東日本大震災の経験を踏まえた、防災における政策・方針決定過程への女性の参画	多様な視点を取り入れた防災力向上セミナーの開催	令和2年度の講座の実施予定はないものの、次年度以降の講座の開催に向け、情報収集に努める。
III 性別、年齢、環境に左右されず能力を発揮し、多様な生き方を安心して選択できる環境の整備	(1) 男性中心型労働慣行の変革を目指した意識改革の推進と制度・慣行の見直し	女性活躍推進セミナーの開催	【再掲】令和2年度は市が主催する講座の実施予定はないものの、県や岩手大学が開催する女性活躍セミナーの周知に協力し、女性活躍に関する情報の提供を行う。
		女性のキャリア形成の啓発	岩手県内の自治体や関係機関と相互に連携する仕組み(地域プラットフォーム)の構築に向けて関係各所と連携を図り、女性のキャリア形成の啓発や女性リーダーの育成等を目指す。
		育児休業、介護休業の取得促進への働きかけ	男女雇用機会均等法やワーク・ライフ・バランスの理解普及に努め、また、その支援制度等に関して情報の提供を図る。
		子育て応援企業認定制度の活用	子ども課、商業観光課と連携し、仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業を「子育て応援企業」に認定することで社会的に評価される仕組みをつくり、子育て家庭を地域全体で応援するという社会的素地の構築を目指す。
	(2) 仕事と生活の調和を目指し、各ライフイベントに対応可能な働き方への取り組みの推進	イクボスの普及・啓発	市ホームページでイクボスについて周知し、市内企業等への普及を図る。
		ワーク・ライフ・バランスの普及	ワーク・ライフ・バランスの理解普及に努めるため庁内関係各課(子ども課・商業観光課)と連携し、企業等への情報提供を行う。
	(4) 多様性を尊重した生き方の支援	LGBTを学ぶ講座の開催	令和2年度の講座の実施予定はないものの、次年度以降の講座の開催に向け、情報収集に努める。
IV 女性の一生涯の健康と安全の支援	(1) 女性に対するいかなる暴力もゆるさない社会風土の形成と暴力の根絶	NPOとの連携による女性への暴力根絶講座の開催	女性に対する暴力の現状と対処について認識を深めるとともに、令和元年度からの取り組みであるDVと児童虐待について学ぶ機会としてパープルセミナーを開催する。
		DV防止の啓発活動	NPO法人カリタス釜石とサポーター認定者を中心とした「GEN・Kせんにんのつどい」との協働で啓発グッズの配布、啓発パネルの展示を行う。また、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて市民ホールをシンボルカラーのパープルにライトアップする。
		各相談機関との連携による相談者のニーズに添った相談体制の充実	市ホームページに各種相談窓口を掲載することで、周知を図る。
	(2) 女性であるがゆえに持つ性的リスクへの教育	デートDVの予防啓発	DV・デートDVについて認識と理解を深め、将来子どもたちが被害者や加害者になることを予防することを目的とし、市内中学校1校を対象に予防啓発講座を開催する。
	(3) 生涯を通じた女性の健康支援	思春期講演会の開催	「性」を人権の問題、人間の生き方に関わる問題として捉えることができ、自己管理・自己決定できる人間として育つことを目的に、市内中学校1校を対象に講演会を開催する。
デートDVの予防啓発		【再掲】DV・デートDVについて認識と理解を深め、将来子どもたちが被害者や加害者になることを予防することを目的とし、市内中学校1校を対象に予防啓発講座を開催する。	